

参考指導案 《2017年度》

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案 (安行小学校事例)

① 単元名

地球の仲間とつながろう (18時間)

森の人「オランウータン」と共に生きる喜び、くらしを、安行の地から考え行動しよう

② 単元目標

・熱帯雨林、オランウータン絶滅の危機について知り、興味・関心をもち、課題を設定して、主体的に学習に取り組む。

・自らが設定した課題に対して、インタビュー、見学、本やインターネットなどから必要な情報を抜粋して課題を解決する。

・調べたことや体験したことを適切な方法を用いて分かりやすくまとめる。

・地域の自然環境を学び自然を守る人たちの願いや考え方に接し、地域住民の一人とし自分ができることは何かを考え行動する。

③ 教材について

世界では自然環境の荒廃、地球温暖化による異常気象、生態系破壊等の様々な問題が存在する。この多様で困難な問題の解決には、自ら課題を見つけ、学び、考え、客観的に判断し、協力しながら行動する力が必要である。本単元では、世界中で拡大している森林伐採等の環境破壊で影響を受けている生物の中から、絶滅危惧種のオランウータンを題材を中心に、人間と生き物の関係を理解し、持続可能な社会はどうすれば実現できるのかを学ぶ。またボルネオの環境問題と同じような問題が地域にもあることを知り、自分たちができる事、豊かな自然と生き物を守る為の仕組みの構築を考える内容とし、将来目指すべき地域の姿や社会の実現に向け、主体的に取り組む力を育てていく。

④ 単元の指導計画・評価計画

過程	○主な学習内容・学習活動	・指導上の留意点★評価規準 (評価方法)
ふれる 3	<p>○パーム油が、わたしたちの生活のなかでは欠かせないものとなっていることがわかる</p> <p>・ポテトチップスの原材料の産地調べをし油はパーム油であることがわかる。</p> <hr/> <p>・パーム油を使ったたくさんの製品を調べる (食品、洗剤、化粧品)</p> <p>・パーム油はアブラヤシの果実から作られており、ボルネオからたくさん輸入されていることがわかる。</p>	<p>・ポテトチップスの原材料、産地調べから、パーム油について気づかせる。</p> <hr/> <p>・社会の産地調べの学習とつなげてパーム油調べをする。</p> <p>★ウ① (観察・ワークシート)</p>

し ら べ る	<p>○熱帯雨林の豊かな自然・動植物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルネオに自然体験旅行に行かれた環境アドバイザー神山先生のお話を聞く。 ・生物多様性、絶滅危惧種の保護について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルネオの豊かな自然と貴重種の動植物を知らせる。 ・現地で取材さいた写真、動画を資料として活用する。 <p>★ア①（観察・ワークシート）</p>
2	<p>○熱帯雨林の減少、オランウータンの絶滅の危機について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空写真から川辺にしか熱帯雨林が残されていないことがわかる。 ・森を追われた動物たち、オランウータンの絶滅の危機について知る。 ・ボルネオ保全トラスト・ジャパン（BCTJ）の取り組みについて学ぶ。（緑の回廊プロジェクト、吊り橋プロジェクト、ボルネオへの恩返しプロジェクト） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが持っている一般的なボルネオ南国の楽園というイメージをゆさぶる。 <p>★ア①（観察・ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランウータンの絶滅を防ぐために、様々な人たちが、様々な立場で協力し始めていることがわかる。
ふ か め る 本 時	<p>○オランウータンの絶滅を防ぐためにどうしたらいいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランウータン、アブラヤシ畑の農民、ポテトチップスをつくる会社、子どもたち（消費者）それぞれ4者の立場からディベートをして、持続可能な社会のしくみをつくり出すためにはどうしたらよいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある立場を全否定するのではなく、どうやってそれぞれの立場を理解し、認めながらおりあえばよいのかと考えさせていく。 <p>★ア①イ①（発言・ふり返しカード）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分なりの意見を持ち、解決策を考え、交流し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に発表の場を用意して、交流をはかる。（各クラスでポスターセッションを実施） <p>★ウ①イ①（作品・発言）</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで発表、交流した解決策を学年全体で共有する。 ・持続可能なパーム油を求める声の高まりに応え、WWFが中心となり「持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO）」が設立された事について、絶滅危惧種の保護と社会ルールの両立について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決のための方法は1つではなく、様々なやり方があることに気づく。 <p>★ア①（観察・ふり返しカード）</p>
	<p>○安行の失われてゆく自然を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安行の貴重種の動植物を知る。（フクロウ・ヒキガエル・アカガエル・オニヤン 	<ul style="list-style-type: none"> ・安行にもボルネオの熱帯雨林・オランウータンと同じような問題があることに気づかせる。

	<p>マ、マヤラン、一輪花)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境アドバイザー専門家、自然を守る活動をしている人のお話を聞く。 <p>川口植物の会会長 西川昭三先生 環境アドバイザー 横山 隆先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安行にたくさんの貴重種の動植物がいることに気づかせる。 <p>★ア① (発言・ワークシート)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 安行のこれからの自然と開発、持続可能な地域の発展について考える。 一人一人が自分なりの意見を持ち、解決策を考え、交流し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人に発表の場を用意して、交流をはかる。(各クラスでポスターセッションを実施) <p>★ウ①エ① (作品・発表)</p>
あ ら わ す ・ ひ ろ め る 8	<p>○オランウータンの絶滅の危機、安行の動植物の希少種を守るために、問題を知らせ、行動しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすい方法を考えて、工夫してまとめ、多様な言語活動を生かして発表する。 <p>新聞・リーフレット、図鑑づくり 劇、ペープサート、歌等 ボルネオ保全トラスト・ジャパン (BCTJ) からのパネル展示・説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> 熱帯雨林の減少、オランウータンの絶滅の危機という世界的な環境問題と地域の自然環境の問題をつなげて考えられるようにする。 <p>★イ①ウ① (作品・発言・ふり返しカード)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 全校発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校によびかけ、体育館で発表の場を設ける。 <p>★イ①エ① (作品・発言・ふり返しカード)</p>

⑤ 本時の学習指導

(1) 本時の目標

○いろいろな立場からオランウータン絶滅の問題を考え、持続可能な社会をつくりだすしくみについて考える

(2) 展開

過程	○学習活動	◇支援の工夫◆評価規準 (評価方法)	時間
つかむ	<p>1 本時の課題を知る</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">オランウータンの絶滅を防ぐためにはどうしたらいいか考えよう</p> <p>○「ゾウの森とポテトチップス」第59回 読書 コンクール毎日新聞社賞受賞の伊東新之助君の作文を聞く。</p> <p>昨年、伊東君とボルネオに旅した環境アドバイザー 一神山先生のお話を聞く。</p>	<p>◇知ることから、学んで自ら考える、知ることから行動することの大切さに気づかせる。</p>	10
	<p>2 「オランウータン」、「アブラヤシ畑の農民」、「ポテトチップスの会社」、「子どもたち」の4つの</p>	<p>◇話し合いのきっかけとして、それぞれの立場の素朴な願いを明確にする。</p>	30

